

**令和 6 年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和 6 年 12 月
海老名市立中新田小学校**

令和6年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

- (1)教科に関する調査(国語、算数)
出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。
 - ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
 - ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

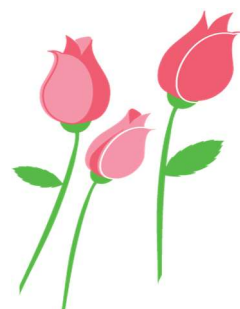
- (2)生活習慣や学習環境等に関する質問調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和6年4月18日(木)

※児童生徒質問調査について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係や心情を、描写を基にして捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることや、読書が自分の考えを広げることに役立つと気付くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 「書くこと」の「思考力、判断力、表現力等」については、全国平均を 8 ポイント上回っており、目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができています。
- 「話すこと・聞くこと」の「思考力、判断力、表現力等」については、全国平均を 2.5 ポイント上回っており、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができています。
- 「情報の扱い方に関する事項」についての「知識・技能」では、86.2%が正答しており、情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句の関係の表し方を理解し使うことができています。

◆課題のある点

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」についての「知識及び技能」では、全国平均を 13.1 ポイント下回っており、文の中における主語と述語との関係を捉えることに課題が見られます。
- 「我が国の言語文化に関する事項」についての「知識及び技能」では、全国平均を 14.6 ポイント下回っており、日常的に読書に親しみ、読書をすることで、自分の考えが広がるということに気付くことに課題が見られます。
- 全体を通して全国平均と比べると漢字や記述式の無回答率が高く 21.5%となっています。分からない問題に対し、粘り強く取り組む姿勢に課題を感じます。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 文章を読んで自分なりの意見や考えを持ち、スムーズに表現することができるよう、単元ごとに初発の感想や「なかしんでん」の視点に沿った振り返りを大切に扱います。
- 朝読書の時間を活用したり、日記の宿題を出したりして、たくさんの文章を読んだり書いたりする活動を通して、主語と述語の関係を捉えられるよう指導を行います。
- 漢字の読み書き指導は、毎日継続的に行い、繰り返し練習する習慣を身につけさせます。学習中の漢字だけでなく、過去に学習した下学年の漢字の復習も行います。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・示された場面を解釈し、数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。
- ・問題場面の数量の関係に着目し、計算の仕方や計算の結果について考察できるかどうかをみる。
- ・立体図形について、図形を構成する要素やそれらの位置関係に着目し、図形の構成の仕方や図形の性質について考察できるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係について考察できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- A 数と計算の学習：□を用いた式や計算練習などの問題では、全国平均を7ポイント上回り 95.4%の児童が正しく回答するなど、知識・技能が身についています。
- B 図形の学習：直方体の見取図に関する知識・技能の問題では、全国平均を2ポイント上回り 87.7%の児童が正しく回答しています。直方体や円柱の展開図に関する問題は、空間認識能力を必要とし、高得点を獲得したことは、児童が立体図形を正確に理解し、視覚的に把握する能力が高いことを示しています。また、直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係に関する知識・技能の問題でも全国平均を7ポイント上回り 78.5%の児童が正しく回答しています。

◆課題のある点

- B 図形の学習：球の直径の長さと立方体の一辺の長さの関係をとらえ、立方体の体積の求め方を式に表す問題では、全国平均をわずかに上回っているとはいえ、正答率が 36.9%と低い結果となっています。深い理解を伴う知識の習得ができておらず、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察できていない児童が多い傾向にあります。また、無回答の児童も 7.7%いました。
- C 変化と関係の学習：速さの意味について理解しているかどうかを見る問題では、どちらが速いか判断し、その理由を書く回答が、正答率 27.7%、分速を求める回答で正答率が 50.8%と低い結果となっています。記述式の回答では、無回答が 6.2%と高くなっていました。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 図形や単位量あたりの大きさ(速さなど)について、深い理解を伴うことができるよう繰り返し学んでいけるようにしていきます。
- 図形や単位量あたりの大きさなどでは、深い理解を伴う知識の習得ができておらず、単位とこれまでに学習した単位との関係が考察できていないため、前学年の学習を振り返りながら知識を積み重ねていけるように指導していきます。
- 日常生活を絡めながら、活用できる知識・技能を習得させることが重要だと思います。また、データの活用については、学年に応じながらデータと言葉・数を使って表現する力を身につけられるよう指導していきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 「算数の授業は好き」と回答している児童が全国平均を 7.8 ポイント上回っています。
- 「算数の勉強は大切だ」と回答している児童が全国平均を 9.3 ポイント上回っています。
- 「学習した内容について、分からなかった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」と回答している児童が全国平均を 9.9 ポイント上回っています。
- 「英語の勉強は大切だ」と回答している児童が全国平均を 6.4 ポイント上回っています。
- 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思うか」という問いに対して、「当てはまる」と回答した児童が全国平均より 6.4 ポイント上回っています。

◆本校の課題と思われるところ

- 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答している児童が全国平均より 15.3 ポイント下回っています。
- 「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」と回答している児童が全国平均より 10.5 ポイント下回っています。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「朝食を毎日食べている」と回答した児童の割合が 94%と高く、家庭での協力が得られています。
- 「自分にはよいところがあると思いますか」という質問に対して、全国平均よりも 3.9 ポイント高い 88%の児童が当てはまると回答しており、自己肯定感が高い児童が多いと考えられます。
- 「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」という質問に対して、全国平均よりも 10.5 ポイント高い 77.6%の児童が当てはまると回答しており、児童が抱えている困り感に対する早期対応につながっていると考えられます。
- 「人が困っているときは、進んで助けていますか」という質問に対して、94%近い児童が当てはまると回答しており、他人に対して思いやりを持っている児童が多いと考えられます。

◆本校の課題と思われるところ

- 「1 日どれくらいの時間にテレビゲームをしますか」という質問に対して、4時間以上と回答した児童が、全国平均よりも 10.7 ポイント高い 28.4%、「1 日どれくらいの時間に SNS や動画視聴をしますか」という質問に、4時間以上と回答した児童が全国平均よりも 12 ポイント高い 23.9%いました。長時間、ゲームやテレビ、スマホに触れている児童が多いと考えられます。
- 「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」という質問では、あてはまる・ややあてはまると答えた児童の割合が、どちらも全国平均よりも5ポイント程度下回っています。

今後の具体的な取組について

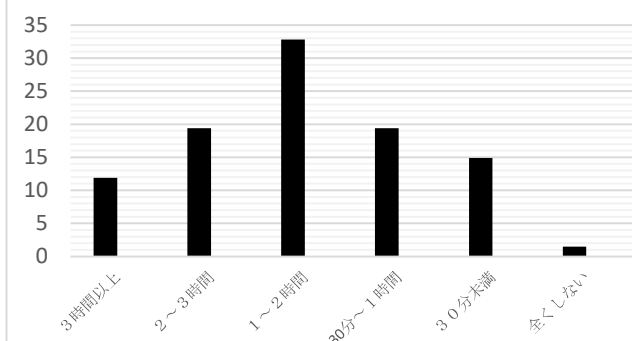
- 国語の学習では、言葉が将来どのように役立つのか意図的に考える機会を多く持たせていきます。また、学習の定着を図るために、既習事項の確認を授業内で取り入れていきます。
- 友達と協力しながら課題解決できるように、話し合い活動を充実させていきます。また、タブレット・PC などの ICT 機器を効果的に活用し、基礎学力の定着を図るとともに、学習の振り返りをする機会を設けます。
- スマホ依存や SNS のトラブルに発展しないよう、タブレット・スマホなどの ICT 機器の活用の仕方や情報セキュリティの指導を継続して行っていきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

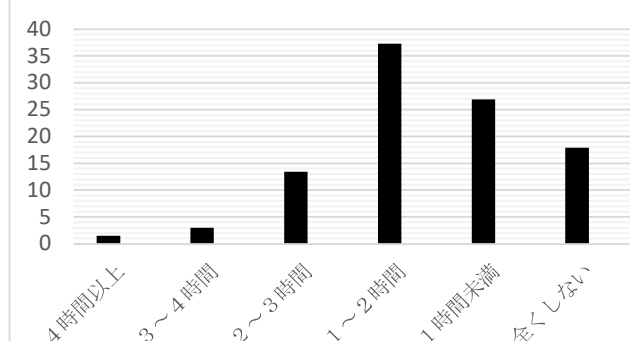
令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい3つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフ(%)は本校の児童質問紙の結果です。

1 家庭学習の習慣を身につけましょう

平日の学習時間



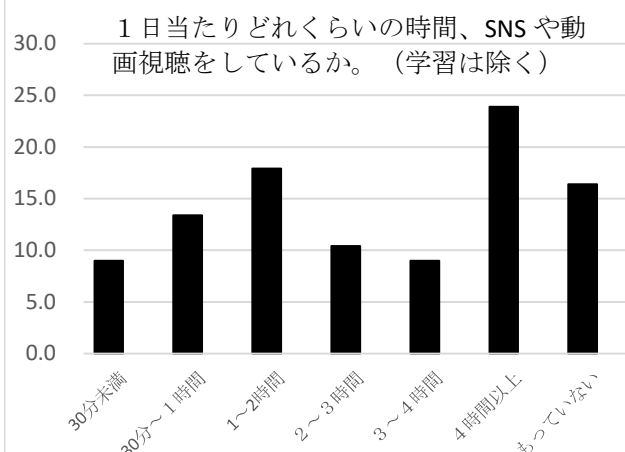
休日の学習時間



平日、休日ともに家庭学習を全くしていない児童や学習時間が30分未満の児童がいます。本校では、学年×10分を目安に家庭学習の時間を提案しています。学校の授業時間以外にも、予習や復習などの学習に取り組む習慣ができると良いと思います。テレビゲームやスマホ等のスイッチを切り、学習に取り組める環境づくりにご協力お願いいたします。

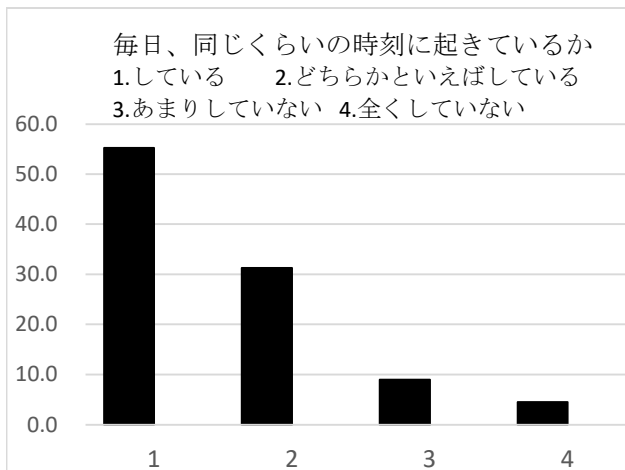
2 スマホ・タブレットの使用ルールの確認しましょう

スマホ等で長時間SNSや動画を視聴している児童が多いです。一方で、「スマホやコンピューターの使い方について家の人との約束を守れているか」について、「守れている」と回答した児童が80.6%だったので、1日の使用時間を1～2時間以内になるように、ご家庭でのルールの確認をよろしくお願いします。



3 規則正しい生活をしましょう

規則正しい生活を送ることで、活動や学習のための準備が整います。また、朝の時間を有効に活用することで、計画的に一日をスタートさせることができ、より充実した日々をおくることができます。就寝時間や起床時間を一緒に決めたり、リラックスできる環境を整えたりすることで、子どもたちが早寝・早起きを実践しやすくなります。ご協力をお願いいたします。



文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和6年度までの調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

2. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 授業改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

3. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

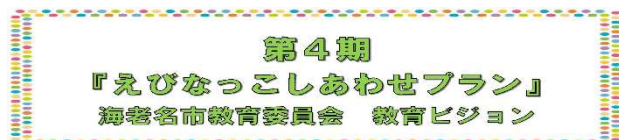
4. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 自治体・学校への伴奏支援の取組
- 学校の ICT 環境整備の推進
- 校務 DX の推進
- 学校の ICT 環境を活用した取組

5. 教師を取り巻く環境整備

- 学校の指導・運営体制の充実
- 教師の育成支援の一体的推進
- 教職員定数の改善や業務支援スタッフの充実に係る支援
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組の推進

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



キーワードは「**包摂性**」
誰ひとり取り残さない教育
実現をめざします



①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③みんなで取り組む学校づくりの推進

＜①授業改善の実践＞

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- こどもたちが主体的に学習に取り組むために、よりよい学習計画の在り方についての研究に取り組みます
- 「協働的な学び」の実践を重点として、授業改善の研究に取り組むとともに、「個別最適な学び」の実践も積み重ねます
- 教職員が主体的に学ぶ研修の場の充実を図ります。

【市の結果についての問い合わせ先】
 海老名市教育委員会教育支援課 指導係
 電話 046-235-4919